

# コンテキストカル・ライティング・ワークショップ スピーキング・アウト!

書きたくないけど、どうしても伝えたい


2024年 **8月31日** 土

14:00~17:30 (13:30開場)

場所 愛知県名古屋市  
オルタナティブスペース Q SO-KO 2階 SEASUN

受講料 無料 | 事前申込制  
(定員10名ほど・先着順)

参加資格 ● 課題を提出できる方  
● 8月31日のレクチャーに出席できる方

申込方法 QRコード  
申込フォームから 

お問い合わせ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

☎0561-76-2873 (受付時間 平日 9:00~17:30)

URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

- 主催:愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学
- 企画:愛知県立芸術大学 社会連携センター

## ACCESS

オルタナティブスペース Q SO-KO



名古屋市名川区外新町2-84

○地下鉄名港線「六番町」駅4番出口から徒歩11分ほど(各種バス路線もあり)

### SEASUN

鈴木一絵が主宰する、東南アジアのアーティストの表現活動や文化を紹介するアート交流プロジェクト。

### オルタナティブスペース Q SO-KO

築70年の倉庫を改装し、1階は美術施工チーム・ミラクルファクトリーの工房、2階はSEASUNが運営するイベントスペースとして2023年オープン。

## 事前課題

「共有・発信したい社会課題」について問題意識を簡潔に800字程度でまとめ、提出してください。

## ワークショップ

レクチャーをふまえて、事前課題で提出したテキストを「スピーチ(演説) = ひとまえてその場で話す」という実践に応用・転換し、発表していただきます。

## 講師

### 居原田遥

(インディペンデント・キュレーター)

1991年生まれ。東京藝術大学博士課程在籍。沖縄をはじめとするアジアの政治・社会課題や困難と向きあう芸術文化の活かし方を研究しながら、アーティストたちと共同する。一般社団法人ドキュ・アタタン理事。「琉球の横顔―描かれた「私」からの出発」(沖縄県立美術館・博物館、2021)企画協力、「当意即妙―芸術文化の抵抗戦略」(京都芸術センター、2024)企画など。

社会課題に直面し、問題意識を主張しなくてはならないとき、そこで生きる言葉は時と場に依じて異なります。このワークショップはアジアで起きている社会問題に立ち向かう「言葉を軸とした創造的な文化実践」を参考にしながら、「書くこと」と、人前で「話して伝えること」を往還させる方法を実践的に学びます。「どうしても発信したいけれど、へ書くために言葉にすることが苦手だと感じる」人に参加してほしいワークショップです。